

Covid-19 Star Alliance

2021年7月17日 山下 均

2020年から2021年にかけて、世界中でもっとも有名になった存在は何かといえば、断トツに Covid-19 が挙げられます。後年、このコロナ禍の記憶を呼び起こす何かないかと頭を捻った結果、浮かび上がったのが Covid-19 の彫刻でした。

Covid-19 は肉眼レベルでは、姿が見えません。恐ろしい病原菌であることに間違いはありません。しかし、どれだけ恐ろし気なもののイメージしても、想像を絶するこの悪魔をうまく表現できないと思うようになりました。ひと頃、話題となったアマビエや子どもたちに大人気のアンパンマンに出てくるバイキンマンというキャラクターがあります。このバイキンマン、悪い奴には違いありませんが、どこか憎めない愛嬌もあります。これらのことから浮かび上がったのが、今回の作品です。

材料にしたのは不用品、ゴミ、壊れたもの、自然にあるものを使いました。角には豪州の廃線で拾った線路を固定するのに使われたペッグ、鼻はワインの栓のコルク、頭の土台となったのは枕木、眼は海岸に残された貝殻、イヤリングは壊れたスパナ、イヤリングの先を飾る宝石は、星のデザインのあるビールの王冠にしました。

タイトルの Star Alliance は、飛行機の世界では航空連合として耳に馴染んだ言葉です。新聞紙上には日々、コロナ感染者と死亡者数が国別の表となって掲載されています。コロナ感染者と死亡者数とも断然トップなのがアメリカ。一方、Covid-19 の発生源とされる中国の名前は、どこにも見当たりません。データの発表がないためでしょう。武漢で初めて患者が見つかって以来の秘密主義で困ったものです。このコロナ2大国であり、近年、頓に不仲が取りざたされる両国に奇妙にも共通するものがあります。それは、国を象徴する国旗に星がデザインにされていることです。そこでタイトルは Covid-19 Star Alliance としました。そこで、Covid-19 Star Alliance の彫刻には、イヤリングの先を飾るのは、星の付いた王冠にしました。



Covid-19 Star Alliance の詳細

体重	9.1kg
高さ	40cm
幅	18cm
奥行	14cm

